

ツバメオモト(ユリ科)

Clintonia udensis Trautv. et Mey.

兵庫県：Aランク

環境省：-

種の概要

亜高山帯の針葉樹林などにはえる多年草。根出葉は2-5個ついて倒卵状長楕円形で、長さ15-30cmになり、やや厚いがやわらかく、はじめは縁に軟毛があるがのちになくなる。花は5-7月、高さ20-30cmの花茎上につく。苞は披針形で花時には落ちる。花柄は1-2cm。花被片は白色で長楕円形、長さ10-15mm、やや平開する。雄蕊は花被片より短い。花柱の先は3裂する。



写真提供：小林禧樹

国内分布

北海道、本州（近畿以北）

県内分布

但馬、西播

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
					○	○



特記事項

県内では2ヶ所に知られているが、播磨西部では現状不明であり、但馬でもほとんどみられなくなっている。分布の西限。

保護上の留意点

現状把握を行うとともに自生地の保全が重要。